

# 平成26年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西和佐小学校
校長氏名	栗本 昌彦
作成日	平成27年2月19日

## 1 教育目標

### 強いからだと明るい心を持つ子どもの育成

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>◇授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々の教育に対する意識を高める。</p> <p>◇教職員の資質向上を図るとともに、その取り組みを広く伝える。</p> <p>◇子どもの様子を積極的に保護者や地域の方々に知らせる。</p>	<p>◇人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。</p> <p>◇地域や関係諸機関、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。</p> <p>◇教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい人間関係を通して、お互いの信頼関係を深める。</p>	<p>◇基礎学力の向上を図る。</p> <p>◇コミュニケーション能力の向上を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。</p> <p>◇学力の定着を図り、教員の指導力を向上させるために、外部から指導や助言を求める。また、学力定着に効果的な教材を活用する。</p>

取組の状況【D】	<p>◆学校通信「西和佐っ子だより」や学年だより・学級通信、授業参観や教育講演会等を通して子どもの活動状況を広く伝え、保護者の教育に対する意識を高めることを図った。また、学校開放月間等を活用し、教育関係者の学校訪問を促し、その取り組みを保護者や地域の方々に広く伝えた。</p>	<p>◆各学級で道徳教育を通して豊かな人間性を育て、人権・同和教育を推進することによって人権意識の高揚に努めた。朝の時間での合唱や読書活動も豊かな心につながると考えている。「にしわさ活動」では、6年生が下級生をまとめ、縦割りでさまざまな活動を行っている。上級生と下級生との心のつながりに役だっていると思われる。</p>	<p>◆「西和佐っ子タイム」や基礎の時間を活用して、読み・書き・計算の基礎学力の定着を図った。児童のコミュニケーション能力の向上を通して学力向上につなげるため、市の客員指導主事等外部の指導者に助言を求める機会を増やし、教員の指導力向上につなげた。また、放課後の補充的な学習の時間の設定を年度途中で行い、学力補充に努めた。</p>
(評価結果【C】) 取組の成果と課題	<p>○「西和佐っ子だより」や学年だより・学級通信、授業参観、学級懇談会等で学校の取り組みや子どもの活動の様子を概ね伝えることができた。学校をひらくという点では、授業参観や教育講演会では多くの保護者が参加してくれた。しかし、よりいっそう多くの保護者に学校や子どもの様子をわかりやすく伝えていくことが課題である。</p>	<p>○朝の時間での歌声や比較的仲のよい学級の児童の様子からは落ち着いた学校生活を過ごせていることが伺われる。保護者アンケートでも「小学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」と回答する保護者が7割に上っている。課題としては、道徳の時間などで児童の心をどう耕していくか深めていく必要がある。</p>	<p>○国語科で身に付けるべき話す力・聞く力・話し合う力・書く力を明確にし、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの具体的内容を系統的に実践し始めることができた。全国学力状況調査では児童の学力は全国平均よりは高かった。しかし、県の学習到達度調査から新たな課題が浮かび上がった。</p>
次年度に向けての改善方法【A】	<p>◎校内美化作業や花いっぱい運動等で地域のたくさんの方々に学校に来ていただき、子どもたちの環境づくりに力を貸していただいている。本年度と同様、地域との連携の中でたくさんの方々の保護者や地域の方々に足を運んでいただける学校にしたい。また、保護者・地域へ学校の取り組みや子どもの様子をわかりやすく伝えられる方法を検討したい。</p>	<p>◎道徳教育の工夫改善と人権意識の高揚を進めるとともに、児童が感動する豊かな体験活動を推進したい。日常生活の中で、困っている人に優しく声をかけるボランティア活動など、人の役に立つことを進んで行う、喜びや感動を伴って植物などを育てる、人の喜びや悲しみを共有することができる等の豊かな心をはぐくんでいけるようにしたい。</p>	<p>◎話の流れをふまえて自分の意見を話すことや、各教科等でじっくり考えて書く・話す活動を増やしていくことが必要である。基礎・基本の定着とともに、来年度も大学や教育委員会等外部から助言者を数多く招へいすることにより教員の指導力向上につなげていきたい。また、読書活動を推進させることにより言葉の力の向上につなげたい。</p>

## 3 その他の課題

- ◆校内に里道が通っている関係上、東門と西門を施錠することができなかったが、民生委員さんや自治会長さんのおかげで門を引いておくことができるようになった。不審者の学校敷地内への侵入を防ぐことが今後の課題である。各教室と職員室をつなぐ内線電話の設置も望まれる。
- ◆学校施設の老朽化(体育館・プール・トイレを含めた古い校舎)も課題である。中学校第3学年から教室にエアコンが設置されていくが、小学校のエアコン設置が完了まではまだ数年かかるようである。
- ◆図書室の整備が課題である。この1月から保護者の図書ボランティアが図書の修繕・整理をしていただいている。二つの団体からの図書の寄贈もあり、学校図書館の有効な活動と児童の読書活動の推進に努めたい。